

東京マラソン財団 2025 大会年度臨時理事会議事録

2024 年 1 月 22 日午前 13 時 30 分、東京マラソン財団内会議室において、東京マラソン財団 2025 大会年度臨時理事会を開催した。

理事総数 27 名
出席理事数 15 名
出席監事数 2 名

事務局は、理事総数 27 名中 15 名が出席し、定足数である半数を超えるため、適法に成立している旨を報告した。

○ 議事：第 1 号議案 東京マラソン参加料の改定について

武田事務局長は、東京マラソン参加料の改定について、現行国内 1 万 6500 円から 1 万 9800 円 (3,300 円増)、海外 160 ドルから 230 ドル (70 ドル増) における経緯や詳細を説明した。

延興理事より、値上げ率については適正の範囲内であるが、参加料が高額な事により参加を躊躇う方々もいるため、若い方や障がい者の方へ招待枠等の社会貢献も検討いただきたいとの意見があった。

これに対して早野理事長は、ご意見を参考にさせていただき、事務局で検討していくと回答した。

次に、小林監事より、国内・海外の料金に差があるのは適切なのか質問があった。

これに対して武田事務局長は、海外ランナーは増加に対して、多言語対応の強化、受入れ体制の整備等で別途費用がかかっており、他大会でも国内・海外で差がある大会もあると回答した。

第 1 号議案は、出席理事全員の承認を得たため可決成立した。

○ 報告：東京レガシーハーフマラソン 2025 及び東京マラソン 2026 の開催日程等について

武田事務局長は、東京レガシーハーフマラソン 2025 を 2025 年 10 月 19 日 (日)、東京マラソン 2026 を 2026 年 3 月 1 日 (日) に開催することとし、それぞれのエントリー期間等を説明した。

延興理事より、東京レガシーハーフマラソン 2025 においては、500 人のチャリティ枠は迅速に定員に達するのか質問があった。

これに対して山本本部長は、東京レガシーハーフマラソン 2022、2023 および 2024 においては定員に達したことはなく、次回は達成出来るように尽力したいと回答した。

○ 報告：(公財) 東京 2025 世界陸上財団との協定締結について

武田事務局長は、公益財団法人東京 2025 世界陸上財団と締結している「東京 2025 世界陸上競技選手権大会の成功に向けたマラソン競技等に関する協定書」に基づき、役割分担・協力体制等を定めることを目的に、新たに協定書を締結することについて説明した。

延興理事より、経費負担について、規定の上限額を超えた場合の質問があった。

これに対して武田事務局長は、事業計画に基づく東京マラソン財団の業務については規定の上
限額の範囲内で進めていき、この範囲を超える場合は公益財団法人東京 2025 世界陸上財団と改
めて協議の上、決定すると回答した。

○ 報告：理事長及び副理事長の職務執行報告について

武田事務局長は 2024 年 6 月 24 日以降 2025 年 1 月 21 日までの代表理事の職務執行の状況を説
明した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第 44 条第 2 項に基づき、出席した
代表理事及び監事は、次に記名押印する。

2025 年 1 月 22 日
一般財団法人東京マラソン財団

代表理事 早野 忠昭

代表理事 古川 浩二

監 事 奈良部 瑞枝

監 事 小林 久美